

# エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間)  
2019年6月1日 ~ 2020年5月31日



2020年9月30日 作成

有限会社 藤工

## 目 次

1	環境方針	2
2	事業活動概要	3~4
(1)	事業者名及び代表者名	
(2)	所在地	
(3)	環境管理責任者名及び連絡先	
(4)	事業内容	
(5)	事業規模	
(6)	社内組織図及び実施体制	
(7)	役割と責任・権限	
3	環境負荷の調査結果	5
4	環境目標の設定	6
5	環境目標に対する実績	7
6	環境活動の取組結果と評価、次年度の取組	8
7	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9
8	地域環境活動	10
9	環境保全に関する教育・訓練	11
10	環境保全・安全に関する資格一覧表	12
11	代表者による全体評価と見直しの結果	13
12	組織概要(情報公開)	14~16

# 1. 環境経営方針

## 基本理念

有限会社藤工は廃棄物の収集運搬、中間処理をはじめとする各種サービスの提供等の企業活動において、廃棄物の削減・再利用・再資源化・省エネルギー活動の推進により環境に優しい社会の実現を目指します。

## 行動指針

- 1 受託した廃棄物の分別を行い、削減・再利用・再資源化・省エネルギー活動の向上に努める。
- 2 二酸化炭素排出量の削減及び節電、水利用の削減に努める。
- 3 従業員に対する環境教育を計画的に実施し、環境保全に対する意識の向上に努めるとともに、従業員一人一人が良き企業市民として行動する。
- 4 環境に関する法規及びその他の法を遵守する。
- 5 工事現場において周辺からのクレームをゼロとする。
- 6 建設副産物のリサイクル率を向上する。
- 7 自社処理施設のリサイクル率を90, 0%以上とする。

制定 平成20年5月1日

改訂 令和2年6月1日

有限会社 藤工

代表取締役 藤原 正基

## 2. 事業活動概要

1) 事業所名及び代表者名

有限会社藤工

代表取締役社長 藤原正基

2) 所在地 〒020-0403

本社・工場 岩手県盛岡市乙部5地割105番

車庫・資材置場 岩手県盛岡市乙部5地割132-1の内

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役専務 藤原清子

EA21担当者 木村富

TEL 019-656-1133 FAX 019-656-1131

E-mail : info@fujikou-eco.com URL <http://www.fujikou-eco.com>

4) 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬処理(岩手県)・産業廃棄物中間処理(破碎)

一般廃棄物収集運搬処理(盛岡市、紫波町、矢巾町)

建築及び付属する設備の清掃並びに管理、建築・土木一式工事

全各号に付帯又は関連する一切の業務

5) 事業規模

設立	平成13年10月		
資本金(万円)	1,000		
産業廃棄物取扱量(t)	6,226	平成29年度	(平成30年5月期)
	6,258	平成30年度	(令和01年5月期)
	5,601	令和01年度	(令和02年5月期)

従業員数 人 42 令和02年5月現在

床面積(本社・事務所) 98 m<sup>2</sup>

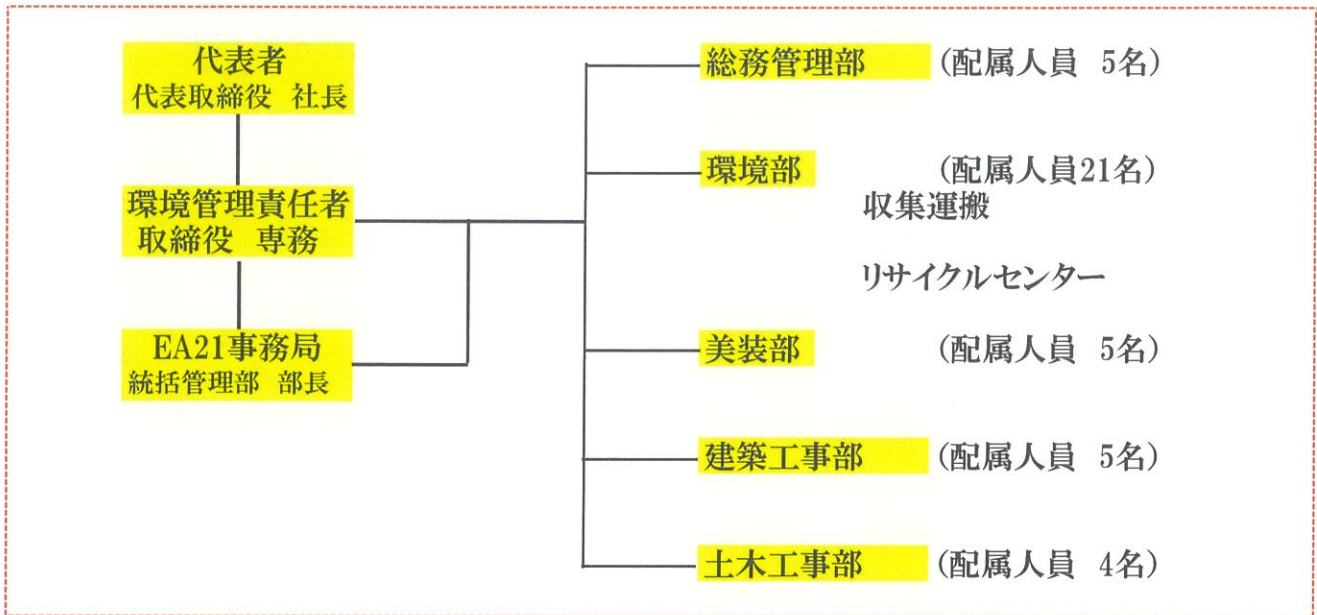
リサイクル工場 1,104 m<sup>2</sup>

保管庫 189 m<sup>2</sup>

敷地面積 3,587 m<sup>2</sup>

※一般廃棄物収集運搬処理業は令和02年度5月期において、実績はありません。

## 6) 社内組織図及び実施体制



----- : EA21認証・登録範囲

## 7) 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	代表取締役	①環境管理責任者を任命する。 ②環境管理責任者から報告を受け全体の見直しを行う。 ③取組に対する資源を用意する。 ④環境方針を策定、見直しを行う。
環境管理責任者	専務取締役	①代表者に代わってシステムを構築し運用する。 ②代表者に結果を報告する。
各部門責任者	各部責任者	①省資源、省エネ、節水を奨励・実施。 ②必要な教育訓練を計画し実施する。 ③EA21目標達成の取組を推進及びチェックし環境管理責任者の了承の下、必要な是正処置・改善を行う。 ④公害防止、緊急事態への予防措置を行う。
従業員	全員	①部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21取組に関する教育訓練を受ける。 ③改善提案を行う。
事務局	担当者	①環境管理責任者の補佐をする。 ②必要文章等の作成。 ③各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者に報告する。

### 3. 環境負荷の調査結果

#### <環境負荷>

当社の過去3年間の環境負荷の実績を調査した結果を下表に記します。

項目		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総エネルギー投入量	購入電力	MJ	1,970,925	3,116,041	2,955,163
	電力消費量	kwh	200,501	316,993	300,627
		/百万円	387	508	497
	化石燃料	MJ	5,913,302	7,051,194	7,542,401
	軽油使用量	L	135,917	163,671	177,456
		/百万円	262	262	293
灯油使用量	L	1,780	1,679	1,209	
	/百万円	3	3	2	
ガソリン使用量	L	18,958	21,206	20,682	
	/百万円	37	34	34	
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sup>2</sup>	525,551	610,276	626,980
		/百万円	1,014	979	1,036
紙使用量	コピー用紙	枚	85,250	119,750	95,000
水資源投入量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	707	780	848
受託した産業廃棄物の処理	収集運搬量	t	5,441	6,226	6,258
	中間処理	t	3,443	4,711	5,551
	再資源化等量	t	3,305	4,014	4,797
建設廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	再資源化等量	t	196	131	130
	最終処分	t	60	12	8
その他	グリーン購入	回			15
	地域貢献	回			30

## 4、環境目標の設定

2) 令和01年6月より、新たな基準値・長期環境目標を設定致しました。

項目	単位	基準値 (平成29年度)		令和01年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
		値	%減	値	%減	値	%減	値	%減	値	%減	値	%減	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	610,276	0.5 %減	607,225	1 %減	604,173	1.5 %減	601,122	2 %減	598,070	2.5 %減	595,019		
	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	979		964		954		945		936		926		
電力使用量	kwh	316,993	0.5 %減	315,408	1 %減	313,823	1.5 %減	312,238	2 %減	310,653	2.5 %減	309,068		
	kwh/百万円	508		501		496		491		486		481		
化石燃料使用量	軽油	ℓ	163,671	0.5 %減	162,853	1 %減	162,034	1.5 %減	161,216	2 %減	160,398	2.5 %減	159,579	
		ℓ/百万円	262		259		256		253		251		248	
	灯油	ℓ	1,679	0.5 %減	1,671	1 %減	1,662	1.5 %減	1,654	2 %減	1,645	2.5 %減	1,637	
		ℓ/百万円	3		3		3		3		3		3	
ガソリン	ℓ	21,206	0.5 %減	20,994	1 %減	20,782	1.5 %減	20,570	2 %減	20,358	2.5 %減	20,146		
	ℓ/百万円	34		33		33		32		32		31		
紙使用量の削減	枚	119,750	0.5 %減	119,151	1 %減	118,553	1.5 %減	117,954	2 %減	117,355	2.5 %減	116,756		
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	780	0.1 %減	779	0.2 %減	778	0.3 %減	778	0.4 %減	777	0.5 %減	776		
産業廃棄物の受託処理	収集運搬量	t	623,600	1 %増	629,800	1.5 %増	633,000	2 %増	636,000	2.5 %増	639,200	3 %増	642,300	
		t	6,226		6,288		6,319		6,351		6,382		6,413	
	中間処理量	t	4,711	1 %増	4,758	1.5 %増	4,782	2 %増	4,805	2.5 %増	4,829	3 %増	4,852	
		t	4,014	1 %増	4,054	1.5 %増	4,074	2 %増	4,094	2.5 %増	4,114	3 %増	4,134	
建設廃棄物のリサイクル率の向上 (自、他処理工場)	リサイクル率	%	85	86	87	88	89	90						
	再資源化等量	t	131											
	最終処分量	t	12											
	再資源化率	%	92	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上		
その他	品目	15	15品目を下廻らない。		15品目を下廻らない。		15品目を下廻らない。		15品目を下廻らない。		15品目を下廻らない。		15品目を下廻らない。	
	回数	12	12回を下廻らない。		12回を下廻らない。		12回を下廻らない。		12回を下廻らない。		12回を下廻らない。		12回を下廻らない。	

## 5、環境目標に対する実績

令和01年度(2019年度)の取組結果を標記しました。

期間令和01年6月1日～令和02年5月31日

項目	単位	基準値(29年度)	目標値 令和01年度	実績	削減率 (増加)(%)	評価
<b>二酸化炭素排出量の削減</b>						
二酸化炭素排出量	kg-CO <sup>2</sup>	610,276	607,225	676,579	-0.25%	△
	kg-CO <sup>2</sup> /百万円	979	964(0.5%減)	1,280		
電力使用量	kwh	316,993	315,408	322,014	-0.18%	△
	kg-CO <sup>2</sup> /百万円	508	501(0.5%減)	609		
<b>化石燃料使用量</b>						
軽油	ℓ	163,671	162,853	184,603	-0.26%	△
	kg-CO <sup>2</sup> /百万円	262	259(0.5%減)	349		
灯油	ℓ	1,679	1,671	898	1.86%	○
	kg-CO <sup>2</sup> /百万円	3	3(0.5%減)	2		
ガソリン	ℓ	21,206	20,994	20,644	1.18%	○
	kg-CO <sup>2</sup> /百万円	34	33(0.5%減)	39		
<b>紙使用量の削減</b>						
コピー用紙使用量	枚	119,750	119,151 (0.5%減)	104,250	1.14%	○
<b>水使用量の削減</b>						
上水道使用量	m <sup>3</sup>	780	779 (0.1%減)	597	1.30%	○
<b>産業廃棄物の受託処理</b>						
収集運搬量	t	6,226	6,288 (1%増)	5,601	-0.11%	×
中間処理量	t	4,711	4,758 (1%増)	5,168	1.09%	○
再資源化等量	t	4,014	4,054 (1%増)	4,670	1.15%	○
再資源化率 (自、他処理工場)	%	85	86	90		○
<b>建設廃棄物の再資源化の向上</b>						
再資源化等量	t	131		158		
最終処分量	t	12		15		
再資源化率	%	92	90%以上	91		○
<b>その他</b>						
グリーン購入	品目	15	15品目を下廻らない	15		○
地域	回	12	12回を下廻らない	12		○

○:よく出来た

△:ある程度出来た

×:あまり出来なかった



## 6. 環境活動の取組結果と評価、次年度の取組

環境目標	環境活動内容	該当部門					
		事務所	工場	収集	美装	建築	土木
電力消費量の節減 (電力使用による二酸化炭素排出量の削減)	・エアコンの温度調整。 (夏季26℃、冬季23℃)	○	○	-	-	-	-
	・休憩時間は消灯する。	○	○	-	-	-	-
	・OA機器は省電力設定にする。	○	-	-	-	-	-
	・節電ステッカーの表示。	○	○	-	-	-	-
	・不使用設備の電源はNFBを切る又はコンセントを抜く。	○	○	-	-	-	-
評価・次年度取組	取組が実施され、電力消費量に関しては、燃料用チップの破碎、燃料用RPFの製造量が増えた事により使用量が増えた。次年度も引き続き節減の取組を行い再資源化量を増やす。						
燃料使用量の節減 (燃料消費による二酸化炭素排出量の削減)	・アイドリングストップを実施する。	○	△	△	△	○	△
	・暖気運転時間の短縮。	○	○	△	△	△	△
	・日常点検の実施。	△	○	○	○	○	○
	・効率的に収集運搬する。	-	-	○	-	-	-
評価・次年度取組	無駄な暖気運転時間の短縮がされていない。再資源化の処理量が増えた為、工場で使用する重機と二次排出運搬の大型トラックの軽油の使用量が増えた。次年度は、無駄な暖気運転時間を短縮する様取組む。						
紙使用量の削減	・誤コピーを少なくする。	○	○	○	○	-	-
	・裏紙の使用。	○	-	○	○	-	-
評価・次年度取組	次年度も、誤コピーの減と裏紙の使用を継続する。						
水使用量の削減	・節水表示をする。	○	-	-	-	-	-
	・水を出し放しにしていないか。	○	○	○	○	-	○
	・擬音装置の取付。	○	-	-	-	-	-
	・定期的な漏水の点検。	○	○	-	-	-	-
評価・次年度取組	取組が実施され、目標値も達成出来た。次年度も引き続き節水を図る。						
リサイクルの推進 (受託廃棄物のリサイクルの率向上)	・工場への受入推進。	○	○	○	-	-	-
	・廃棄物の適正に分別しリサイクル化。	-	○	○	-	○	○
	・リサイクル品を排出していないか。	-	○	○	-	-	-
評価・次年度取組	取組が実施され、中間処理量、再資源化等量も目標値を達成出来た。次年度も引き続きリサイクルの推進を図る。						
グリーン購入の推進	・グリーン商品の購入。	○	○	○	○	○	○
評価・次年度取組	取組が実施され、目標も達成している。次年度も継続し、グリーン商品の購入を図る。						
地域環境への貢献	・事務所付近のゴミ拾い。	○	○	○	○	○	○
	・事務所前通学路の除雪作業。	○	○	○	-	-	○
評価・次年度取組	今年度も降雨量が多かったので歩道の草刈作業が多かった。取組が実施され、目標も達成している。次年度も継続し、地域貢献をする。						

○:よく出来た      △:ある程度出来た      ×:あまり出来なかった

## 7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関する環境関連法規は下表の通りです。

環境法規等の名称・略称	規制内容	規制対象
廃棄物処理法	産業廃棄物(特別)収集運搬	処理基準の遵守 契約書の締結 マニフェストの処理 年間報告 マニフェストの保管 業の許可更新 変更時の届出
	産業廃棄物処分業	処理基準の遵守 委託契約書の締結 マニフェストの処理 年間報告 マニフェストの保管 業の許可更新 変更時の届出 2次マニフェストの処理 産業廃棄物管理票交付等状況 報告書の提出
	産業廃棄物排出事業者	マニフェストの保管 産業廃棄物管理票交付等状況 報告書の提出 委託契約書の締結
道路運送車両法	廃棄物収集運搬車両	法定点検による実施
道路法	廃棄物収集運搬車両	道路作業による占用許可
道路交通法	廃棄物収集運搬車両	積載の制限 安全運転管理体制 作業等による道路の使用
労働安全衛生法	車両系建設機械及びフォークリフト	自主検査(始業前点検)及び法定点検の実施
建設業法	一般建設業	業の許可更新 変更時の届出
建設リサイクル法	廃棄物の再資源化等を促進する為の措置の実施	分別解体の実施及び再資源化等の義務付け
浄化槽法	浄化槽の保守点検・清掃	法定期間内の保守点検・清掃及び年1回法定検査の実施
騒音規制法	産業廃棄物の中間処理施設	規制基準値70db以下の遵守及び施設の維持管理
振動規制法	産業廃棄物の中間処理施設	規制基準値70db以下の遵守及び施設の維持管理
消防法	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵	消防用設備の設置及び維持管理
盛岡市環境保全協定	産業廃棄物の中間処理施設	騒音・振動の環境保全に係る地元との協定
岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	産業廃棄物管理責任者	産業廃棄物管理責任者の選任
	廃棄物等の保管等	廃棄物等の適正保管等

環境関連法規遵守チェック表でチェックした結果、法律違反はありませんでした。また、令和01年6月1日から令和02年5月31日までの活動期間中、訴訟、環境に関する苦情等はありませんでした。

## 8. 地域環境活動

### <環境美化活動>

実施日 毎月1回土曜日 朝7時30分から

活動範囲 事務所周辺の車道、歩道

内容 歩道のゴミ拾いや草刈り、車道のゴミ拾い等

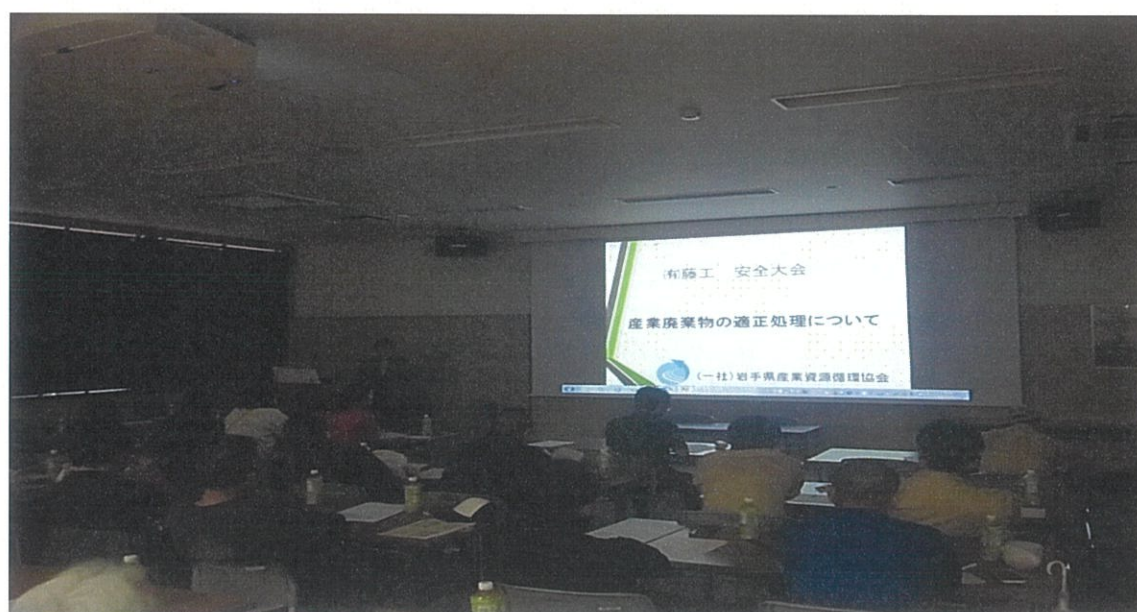
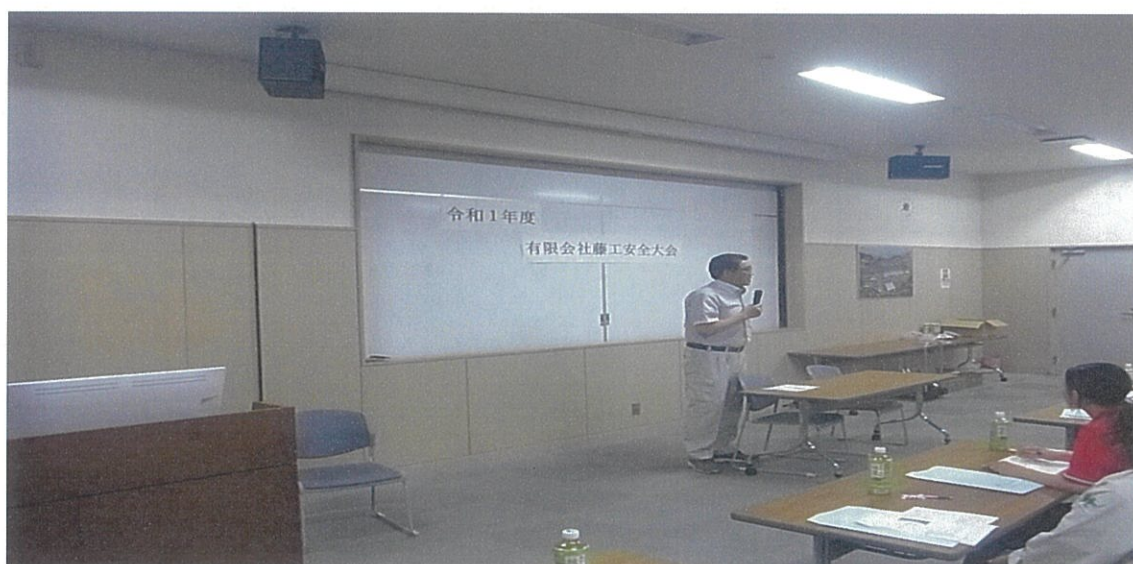
参加者 社員全員



## 9. 環境保全に関する教育・訓練

令和01年 6月15日(土)社内安全大会にて産業廃棄物の適正処理、安全講習会及緊急事態の訓練を行いました。

場所	盛岡中央卸売市場 4階会議室
訓練目的	産業廃棄物の適正処理 労働災害・緊急事態の想定した訓練
参加者	全社員



## 10. 環境保全・安全に関する資格一覧表

許可取得に必要な資格	人数	
産業廃棄物処理業許可講習(収集・運搬)	1	名
産業廃棄物処理業許可講習(処分)	1	名
破碎・リサイクル施設技術管理士	1	名
環境保全対策に関する資格者		
エコスタッフ	2	名
エコドライブ講習修了	1	名
産業廃棄物収集運搬車両運転者講習修了	2	名
産業廃棄物処理実務者研修会修了	2	名
安全衛生に関する資格(技能講習、特別教育)		
車両系建設機械(整地・運搬・積込及び掘削用)	15	名
車両系建設機械(解体特1)	4	名
車両系建設機械(解体特3)	10	名
小型移動式クレーン	20	名
玉掛け	18	名
フォークリフト	14	名
高所作業車運転	2	名
足場の組立等作業主任者	3	名
地山掘削及び土止め作業主任者	2	名
高圧ガス取扱主任者	1	名
ガス溶接	1	名
石綿作業主任者	10	名
はい作業主任者	2	名
小型車両系建設機械(整地・運搬・積込用及び掘削用)	1	名
ローラーの運転	2	名
締固め用機械(無制限)	5	名
アーク溶接	2	名
職長教育修了	1	名
職長・安全衛生責任者教育修了	2	名
研削砥石の取替え	5	名
ゴンドラの操作	1	名
巻上げ機の操作	1	名
免許・資格その他		
1級土木施工管理技士	1	名
2級土木施工管理技士	3	名
2級建築施工管理技士	1	名
2級建設機械施工管理技術士	1	名
2級舗装施工管理技術者	1	名
消防設備士	1	名
危険物取扱(乙・丙種)	2	名
大型自動車1種	10	名
中型自動車(限定無し)	4	名
中型自動車(8tに限る)	28	名
大型特殊自動車	6	名
けん引自動車	1	名
安全運転管理者・副安全運転管理者	2	名
心肺蘇生	1	名

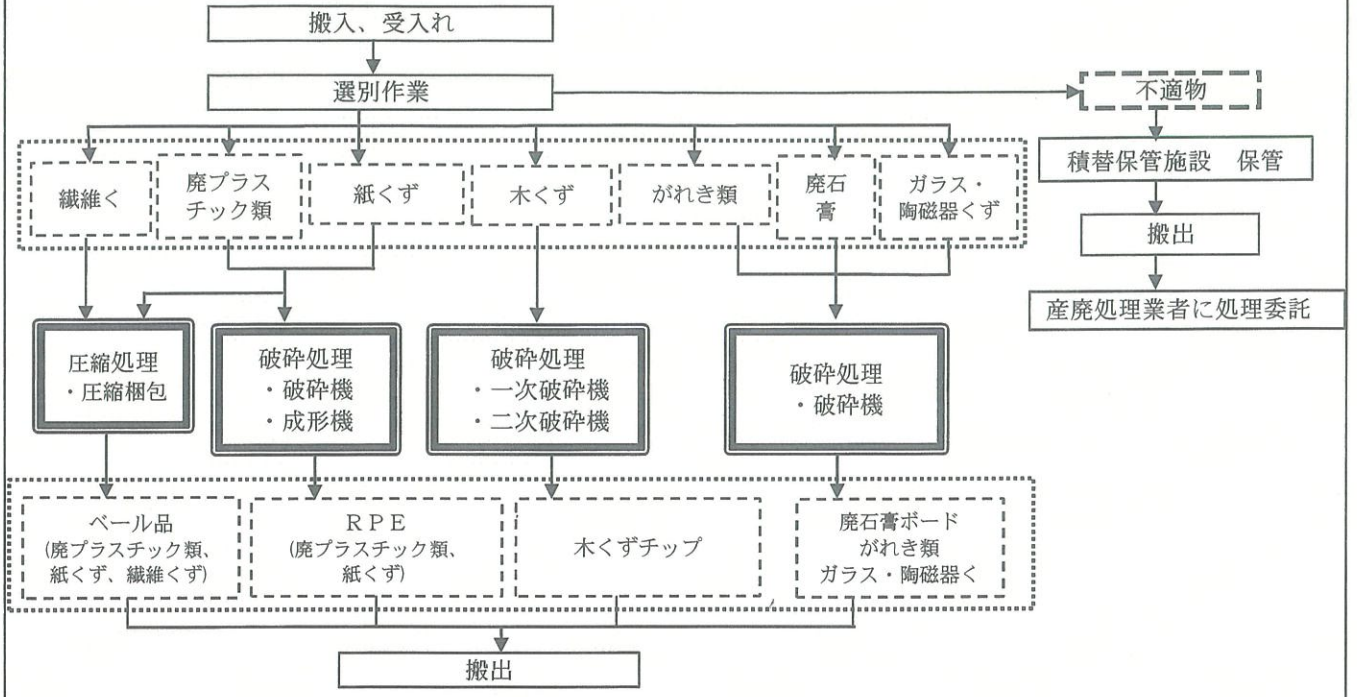
## 11. 代表者による全体評価と見直し結果

	見直し事項	評価	改善及び指示
1	環境方針	各項目に対し、ほぼ達成してきている。	未達成項目に対し何故出来ていないか原因を追究し、改善策を立て活動しましょう。
2	環境目標	まだまだではあるが順調に良い方向できている。	未達成項目は意識すれば出来る項目であり、どう行動するか、見直しを図り行動して下さい。
3	環境活動 及び環境経営 システム	良い形として継続されている。	環境活動にやり過ぎという事はありません。地域に根差した環境活動は、もう一歩先を見て必要とされる活動をしていきましょう。
4	全体評価	再資源化処理量の増加、リサイクル率の向上など少しずつ実績が出てきています。環境方針、環境目標に対しまあまあという評価ではなく自信が持てる評価となる様、項目ごとにP,D,C,Aを繰り返し良いものにしていきましょう。	

組織の概要(情報公開)

事業所名	有限会社藤工					
代表者名	藤原 正基					
所在地	岩手県盛岡市乙部5地割105番					
環境管理責任者	藤原 清子					
エコアクション2.1担当者	木村 富					
連絡先	電話	019-656-1133	ファクス	019-656-1131		
	E-mail	info@fujikou-eco.com				
	UCL	http://fujikou-eco.com				
事業活動の内容	(1)一般廃棄物収集運搬処理(盛岡市、玉山区、旧都南地区、紫波地区、矢巾町)(2)産業廃棄物収集運搬(岩手県)(3)産業廃棄物中間処理(破碎)(4)建築及び附属する設備の清掃並びに管理(5)建築一式工事(6)土木一式工事(7)前各号に附帯又は関連する一切の業務					
事業の規模	事業年度	平成28年(16期)	平成29年(17期)	平成30年(18期)	令和01年(19期)	
	売上高(千円)	518,300	623,600	605,000	528,300	
	収集運搬量(t)	5,440	6,226	6,258	5,601	
	処分量(t)	3,442	4,711	5,551	5,168	
	最終処分量(t)					
	社員・従業員(名)	34	37	40	43	
法人設立年月日	平成13年10月2日		資本金	1,000	万円	
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)		
	産業廃棄物収集運搬業 岩手県知事許可 第 00301101925号積保無	許可	平成30年 2月17日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙屑、木屑、繊維屑、金属屑、ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑、がれき類、ばいじん		
		有効	平成35年 2月16日			
	産業廃棄物収集運搬業 盛岡市長許可 第 11011101925号積保有	許可	平成30年 2月17日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙屑、木屑、繊維屑、金属屑、ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑、がれき類、ばいじん		
		有効	平成35年 2月16日			
	一般廃棄物処理業(収集運搬) 盛岡市指令第29号 指令第26号	許可	令和02年 4月1日	一般廃棄物(ごみ)及び特定家庭用機器再商品化法(平成10年法律第97号)第2条第4項の政令で定める一般廃棄物		
		有効	令和03年 3月31日			
	一般廃棄物処理業(収集運搬) 盛岡市指令第29号 指令第2-15号積保無	許可	令和01年12月12日	一般廃棄物(し尿を除く。)		
		有効	令和03年12月11日			
	産業廃棄物処分量 盛岡市長許可 第11021101925号	許可	令和元年 6月11日	廃プラスチック類、紙くず、木くず繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類		
有効		令和5年 3月12日				
市内搬入処理承認書 仙台市(H23環指)指令第 863号	許可	令和01年12月1日	廃プラスチック類			
	有効	令和02年11月30日				
産業廃棄物収集運搬業 秋田県知事許可 第00506101925号積保無	許可	平成30年 3月28日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙屑、木屑、繊維屑、ゴム屑、金属屑、ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑、がれき類、			
	有効	平成35年 3月27日				
県外産業廃棄物搬入 青森県(青環保第1149号)	許可	令和02年 4月1日	がれき類			
	有効	令和03年 3月31日				
設備及び収集運搬車両	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	破碎施設Ⅰ	廃プラスチック類、紙くず 4.0536t/日	1	脱着装置付コンテナ専用車	3,000 kg	1
	破碎施設Ⅱ	木くず 16.736t/日	1	塵芥車	1,650 kg	1
				塵芥車	1,450 kg	1
	破碎施設Ⅲ	ガラス陶磁器くず(廃石膏ボード)6.9312t/日 がれき類 10.2576t/日	1	キャブオーバ(クレーン付)	11,600 kg	1
				キャブオーバ(クレーン付)	7,500 kg	1
	成形機	RPF	1	キャブオーバ(クレーン付)	7,000 kg	1
				キャブオーバ(クレーン付)	4,850 kg	1
	圧縮施設	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず(3.88~4.76t/日)	1	キャブオーバ(クレーン付)	3,000 kg	2
				キャブオーバ(クレーン付)	2,600 kg	1
脱着装置付コンテナ専用車	12,100 kg	1	キャブオーバ	2,000 kg	1	
脱着装置付コンテナ専用車	10,900 kg	1	2tダンプ	2,000 kg	1	
脱着装置付コンテナ専用車	4,000 kg	3	軽トラック	350 kg	1	
積替保管面積	399.66㎡	積替保管体積	475.10m <sup>3</sup>			

処理の工程



収集運搬物（処理料込）・処理物		標準価格	単位	受入基準・処理方法
木くず・紙くず			1 m <sup>3</sup>	破碎処理
畳			1枚	
ダンボール			1 m <sup>3</sup>	
金属くず			1 m <sup>3</sup>	
廃プラスチック類	一般		1 m <sup>3</sup>	破碎処理
	塩ビ類		1 m <sup>3</sup>	
ガラス・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず・瓦		1 m <sup>3</sup>	破碎処理
	ガラスウール・FRP・Pタイル・スレート		1 m <sup>3</sup>	
がれき類	コンクリートブロック・モルタル(リサイクルの場合別途)		1 m <sup>3</sup>	破碎処理
	再生石膏ボード			
	外壁類 土壁類(紙付ガラ・紙付モルタル)			
分別手数料			1式	
人工賃				
マニフェスト伝票			1部	
産廃税(最終処分場へ搬入時)		(非課税)	1kgにつき	
遠距離加算料金(沼宮内以北、水沢以南、沿岸地区)			1回につき	

上記、廃棄物収集運搬処理料金に関しましては、お電話、FAX、メール等にてお問い合わせ下さい。



受託した産業廃棄物の処理量

令和01年度（令和01年6月～令和02年5月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	廃プラスチック類		740	
	紙くず		335	
	木くず		1,577	
	繊維くず		21	
	金属くず		114	
	ガラス・陶磁器くず		537	
	廃石膏ボード		899	
	がれき類		1,057	
	コンクリートがら		285	
	アスコンがら		31	
	石綿		0	
	混合（安定型のみ）		5	
	汚泥		0	
	収集運搬量合計			5,601
中間処理	廃プラスチック	破碎	702	
	紙くず	破碎	588	
	木くず	破碎	2,085	
	繊維くず	圧縮	46	
	廃石膏ボード	破碎	1,227	
	がれき類	破碎	517	
	ガラス・陶磁器くず	破碎	3	
	うち再資源化等	廃プラスチック類	破碎・燃料用RPF原料	114
廃プラスチック類		焼却処理 ポイラー燃料	393	
紙くず		破碎・燃料用RPF原料	588	
木くず		破碎・燃料用チップ化	2,085	
繊維くず		燃料用原料（委託）	46	
廃石膏ボード		再生石膏ボード、土壌改良材、セメント原料（委託）	924	
がれき類		再生路盤材、セメント原料（委託）	517	
ガラス・陶磁器くず		焼却処理 ポイラー燃料	3	
再資源化等量小計			4,670	
中間処理合計			5,168	
最終処分				
最終処分量合計				
中間処理後の産業廃棄物	処最分終	廃プラスチック類	安定型埋立（委託）	195
		廃石膏ボード	安定型埋立（委託）	303
	再資源化	廃プラスチック類	破碎・燃料用RPF原料	114
		廃プラスチック類	焼却処理 ポイラー燃料	393
		紙くず	破碎・燃料用RPF原料	588
		木くず	破碎・燃料用チップ化	2,085
		繊維くず	燃料用原料（委託）	46
		廃石膏ボード	再生石膏ボード、土壌改良材、セメント原料（委託）	924
		がれき類	再生路盤材、セメント原料（委託）	517
		ガラス・陶磁器くず	焼却処理 ポイラー燃料	3
		再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計			5,168	